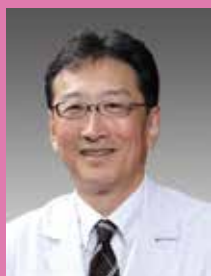


医科歯科連携時代のチーム医療における 歯科衛生士養成コース

Dentistry



天野 敦雄
Atsuo Amano



伊藤 公一
Koichi Ito



井林 雪郎
Setsuro Ibayashi



今井 一彰
Kazuaki Imai



植田 耕一郎
Koichiro Ueda



垣添 忠生
Tadao Kakizoe



金子 俊之
Toshiyuki Kaneko



河原 英雄
Hideo Kawahara



佐藤 公則
Kiminori Sato



竹内 孝仁
Takahito Takeuchi



鶴 純明
Sumiaki Tsuru



西田 亙
Wataru Nishida



藤田 薫
Kaoru Fujita



増田 純一
Junichi Masuda



安井 利一
Toshikazu Yasui



山田 好秋
Yoshiaki Yamada

Dental Hygienist Training Course
in Team Medicine in the Medical
and Dental Collaboration Era

11
DAYS COURSE

INTRODUCTION

平成23年6月、チーム医療推進方策検討ワーキンググループにおいて、チーム医療の基本的な考え方として「医科・歯科連携」が明示されました。その中で、歯科医師、歯科衛生士をチーム医療の一員とし、口腔衛生管理の徹底を図ることで、誤嚥性肺炎等の発生を予防し、その後の円滑な医療に貢献するとともに、摂食・嚥下障害、低栄養状態、口臭等に対する医療対応が可能となり、入院患者のQOL向上や早期回復に寄与できると報告されました。

歯科衛生士として、歯科医院に来院する患者に対応し、歯・歯肉・口腔衛生状態を診る従来型の学びから大きな転換を図っていかねばなりません。チーム医療を推進する中で、口腔機能管理が歯科医師と歯科衛生士に求められています。歯科衛生士として求められているのは、口腔衛生管理と患者の状態を歯科医師に伝達するスクリーニングの役割が期待されます。歯科医師と歯科衛生士がチームを組んで医療対応することが重要であるが、そのためには歯科衛生士は従来の知識に加えて、さまざまな専門的口腔衛生処置などの分野の知識を新たに学ぶ必要があります。

特に、歯科医療人に必要なビジネスマナー、歯周病、口腔育成、摂食嚥下、睡眠時無呼吸症候群、分子栄養医学概論、病巣疾患、健口から健幸、がん、誤嚥性肺炎、自立支援、う蝕と全身機能、オーラルフレイルなど周術期等の感染予防や口腔機能の維持・改善を目的とした専門的口腔ケアに関わっていただいている先生方に「医科歯科連携時代のチーム医療における歯科衛生養成コース」をお願いしました。

明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部

「クリニカルスキルアップセミナー」より、歯科衛生士も対象となるプログラムを抜粋し構成したものです。

プログラム内容

Excellent Clinician

クリニカルスキルアップセミナー

【歯科医師】 【歯科衛生士】

- | | | |
|---|---|--|
| 6 歯周治療
講師／伊藤 公一 会場参加 WEB 配信 | 17 スポーツテニスト歯科医学へのいざない[スポーツ歯科医学概論]
講師／安井 利一 会場参加 WEB 配信 | 26 脳卒中回復期における医科歯科連携診療の現状～話題提供～
講師／井林 雪郎 会場参加 WEB 配信 |
| 7 歯科医療従事者のヒューマンスキル向上講座
講師／藤田 薫 会場参加 WEB 配信 | 20 睡眠時無呼吸症候群
講師／佐藤 公則 会場参加 WEB 配信 | 27 咀嚼と全身機能
講師／河原 英雄 会場参加 WEB 配信 |
| 9 歯周治療はバイオロジー
講師／天野 敦雄 会場参加 WEB 配信 | 21 分子整合栄養医学概論
講師／金子 俊之 鶴 純明 会場参加 WEB 配信 | 28 自立支援介護(自立支援歯科)
講師／竹内 孝仁 会場参加 WEB 配信 |
| 10 口腔育成(小児歯科)
講師／増田 純一 会場参加 WEB 配信 | 22 病巣疾患
講師／今井 一彰 会場参加 WEB 配信 | |
| 14 摂食嚥下のメカニズム
講師／山田 好秋 会場参加 WEB 配信 | 24 令和の歯科医療に必要なとなる医科的視点
講師／西田 亙 会場参加 WEB 配信 | |
| 15 摂食嚥下リハビリテーション
講師／植田 耕一郎 会場参加 | 25 がんと向き合う
講師／垣添 忠生 会場参加 WEB 配信 | |



伊藤 公一

Koichi Ito

日本大学名誉教授
徳真会グループ先端歯科医療研究所所長
日本歯周病学会
認定歯周病専門医・指導医・名誉会員
日本歯科保存学会元理事・
歯科保存治療専門医・指導医・名誉会員
日本歯科医学教育学会
元副理事長・監事・評議員・名誉会員
日本口腔機能水学会元常任理事・監事
日本顎咬合学会認定審議会顧問
歯科衛生士部会顧問・会員
日本禁煙科学会顧問
American Academy Periodontology 会員



藤田 薫

Kaoru Fujita

マネジメントコンサルタント
MBA



天野 敦雄

Atsuo Amano

大阪大学大学院歯学研究科
口腔分子免疫制御学講座
予防歯科学教授
日本口腔衛生学会
近畿中国四国口腔衛生学会
日本歯周病学会
歯科基礎医学会
日本細菌学会
国際歯科研究学会 (IADR)
国際歯科研究学会日本部会 (JADR)
日本歯科医学教育学会
大阪大学歯学会

歯周治療

「患者のためになる歯周治療の基本を学ぼう！」

伊藤 公一【コース番号:12210106】

2021年5月23日(日) 13:30~16:00

会場参加

WEB 配信

国民病といわれる歯周病。なぜここまで蔓延してしまうのか?原因の大半は、プラークと外傷力であるとわかっているのにどうしてコントロールできないのか?その理由は歯周病の持つ複雑な病因論にあると言われています。さらに歯周病の治療を受ける患者側と治療を行う歯科医師側にも問題があります。口腔の二大疾患であるう蝕と歯周病がコントロールできれば、口腔の諸機能は生涯保全されるはずで。また近年では、歯周病と全身疾患との密接な関係が次々と明らかになっています。歯周治療は、歯を守るだけでなく、患者の全身の健康維持と QOL の向上に繋がります。患者のためになる歯周治療の基本とは何か?複雑に思える歯周治療の基本をわかりやすく解説します。ステップアップするには基本を学ぶことが大切であることが理解できるでしょう。

歯科医療従事者の ヒューマンスキル向上講座

藤田 薫【コース番号:12210107】

2021年6月20日(日) 10:00~12:30

会場参加

WEB 配信

歯科医師には、専門知識・技術の向上を追求し続けることは勿論のこと、神聖な医療に携わる医療人としての「高い矜持」と、「人を惹きつける人間的魅力」が求められます。

本講座では自分の人間としての魅力度を高め、顧客(患者)との強い信頼関係を築き上げ、歯科医院をビジネスとして成功させていくノウハウをサービスマネジメントのプロから学びます。コミュニケーションスキルも、リーダーシップの発揮も、サービス向上も、まずは歯科医自身の人間としての気づきや仕事への誇りと自信、そして他者を思いやる心から。

それらがどのように顧客満足度を高めるかを学び、人を惹きつける歯科医として羽ばたく術を身に付けて頂きます。

歯周治療はバイオロジー

「歯周病はなぜ起こるか知っていますか？」

天野 敦雄【コース番号:12210109】

2021年7月11日(日) 10:00~12:30

会場参加

WEB 配信

21 世紀には「削る・詰める・抜く」だけではなく、「防ぎ・守る・取り戻す」口腔健康管理の歯科医療が求められています。歯周病は感染症です。患者ごとにバイオフィルムの病原性は違います。同じ患者でも、バイオフィルムの病原性は絶えず変化し、高まります。そのメカニズムを知れば、バイオフィルムの病原性を管理できます。歯周病から患者さんを「防ぎ・守る」歯科医療は難しくありません。歯周病にどう対峙すべきか、最新の歯周感染論に基づいた歯周治療・管理についてお話しいたします。

■定員：各10名(会場参加)

■会場：東京・新宿区

明海大学・朝日大学サテライトキャンパス

明海大学・朝日大学歯科医師生涯研修センター

■受講料：各 ¥ 8,000

Dental Hygienist Training Course
in Team Medicine in the Medical
and Dental Collaboration Era

11
DAYS COURSE

口腔育成(小児歯科)

「Health Dentistry 0歳から“噛む”で健康長寿」

増田 純一【コース番号:12210110】

2021年7月11日(日) 13:30~16:00

会場参加

WEB 配信

「三つ子の魂百まで」と言われるように、3歳までに正しい口腔機能を獲得することは、生涯の健康維持に繋がります。ファストフードなど柔らかくて簡単な食事が増えた現代では、この口腔機能が不十分ないわゆる「お口ぽかん」の子供が目立って増えています。乳幼児期に正しい口腔機能を獲得するにはどうしたら良いか?小児期では何が大切か?そして小児期までに獲得された正しい口腔機能が生涯どのように活かされて行くのか?

私の小児を診る目を通して、「噛む」という行為が、健康長寿にとっていかに重要か、豊富な臨床経験をもとに解説します。

摂食嚥下のメカニズム

山田 好秋【コース番号:12210114】

2021年9月5日(日) 13:30~16:00

会場参加

WEB 配信

栄養摂取は、食欲が生じ食物を求めることから始まります。食物は口に運ばれ、咀嚼で食塊とした後、嚥下で食道へと送り込まれます。この日常何気なく行われる行動は、口腔・咽頭の形態変化や感覚・運動機能障害、さらには脳機能に障害が生じると、誤嚥という生命に関わる問題を引き起こします。高齢社会を迎え人間らしく生きるために口から自力で食べることが重要であると広く認知されてきた現状を踏まえ、摂食嚥下の基本的事項を、嚥下造影検査を交えて解説します。

摂食嚥下リハビリテーション

「診療室を核にした摂食・嚥下リハビリテーション」

植田 耕一郎【コース番号:12210115】

2021年9月26日(日) 10:00~12:30

会場参加

2016年度の平均寿命は女性 87.14歳、男性 80.98歳と日本は世界のトップクラスの長寿国です。しかしながら健康上の問題がない状態で生活出来る「健康寿命」は平均寿命に比べて10歳程度も短い状態です。2013年度の高齢者の要介護者数は569.1万人と、年々増加の一途を辿っています。そのようななか、摂食嚥下の障害は、誤嚥性肺炎や胃ろうなど、様々な問題を引き起こしています。たとえ寝たきりの状態であっても、一口でもいいから美味しく食べたいと誰もが願っているだけでなく、口から食べることは人間の尊厳にもつながる大切なことです。我々臨床医が診療室で摂食嚥下リハビリテーションにどのように関わることができるのか、皆様とともに考えます。



増田 純一

Junichi Masuda

マスダ小児矯正歯科医院
院長
日本小児歯科学会専門医
日本審美歯科協会会員
日本矯正学会会員
日本顎咬合学会会員



山田 好秋

Yoshiaki Yamada

新潟大学名誉教授
元新潟大学前理事・副学長



植田 耕一郎

Koichiro Ueda

日本大学歯学部摂食機能療法学講座
教授
日本摂食・嚥下リハビリテーション学会
理事・認定士
老年歯科医学会
認定医・指導医・理事

- 定員：各10名(会場参加)
- 会場：東京・新宿
明海大学・朝日大学サテライトキャンパス
明海大学・朝日大学歯科医師生涯研修センター
- 受講料：各¥8,000

Dental Hygienist Training Course
in Team Medicine in the Medical
and Dental Collaboration Era

11
DAYS COURSE



安井 利一

Toshikazu Yasui

明海大学学長
日本スポーツ歯科医学会
理事長
日本臨床スポーツ医学会理事



佐藤 公則

Kiminori Sato

佐藤クリニック院長
日本耳鼻咽喉科学会専門医
日本気管食道科学会専門医
日本睡眠学会認定医
死体解剖資格認定(病理解剖)
American Academy of Otolaryngology-Head
and Neck Surgery
American Laryngological, Rhinological
and Otological Society (Triological Society)
American Laryngological Association
American Broncho-Esophagological
Association
American Academy of Sleep Medicine



金子 俊之

Toshiyuki Kaneko

医師・医学博士
株式会社分子栄養学研究所所長
特定非営利活動法人分子整合
栄養学協会理事長
日本内科学会認定医
日本リウマチ学会認定 リウマチ
専門医・指導医
順天堂大学医学部附属
順天堂医院膠原病リウマチ内科
助教



鶴 純明

Sumiaki Tsuru

医学博士
特定非営利活動法人分子
整合栄養学協会
副理事長
特定非営利活動法人分子
整合栄養学協会附属分
子整合栄養医学院
学院長
元防衛医科大学校細菌学教室
助教

スポーツデントリスト歯科医学へのいざない [スポーツ歯科医学概論] 「スポーツ歯学」

安井 利一【コース番号:12210117】

2021年10月17日(日) 10:00~12:30

会場参加

WEB 配信

スポーツに起因する歯科的な外傷、予防などの他にスポーツパフォーマンスを最大限に発揮できるように歯科的な効果を解説いたします。

歯や口の中やまわりにおける外傷には歯肉の損傷、歯や歯根の破折、歯の脱臼などがあり、その原因としては交通事故、転倒転落、スポーツ、殴打などが挙げられて、スポーツによる障害が占める割合は6~15.2%とされており皆さんが思っているより多いのです。また、歯科治療で投薬された薬がドーピング検査で陽性になったりすることがないように配慮したりすることもスポーツ歯学の守備範囲と考えます。

睡眠時無呼吸症候群

佐藤 公則【コース番号:12210120】

2021年11月14日(日) 13:30~16:00

会場参加

WEB 配信

睡眠時無呼吸症候群の集学的治療において、口腔内装置治療は有用な治療法です。しかし実際の臨床では、必ずしも口腔内装置治療が適切に行われているとはいえません。医科において、上気道形態の評価、睡眠検査による病態の把握が適切に行われておらず、適切な治療圧による CPAP 療法が必ずしも行われていないこと。CPAP 療法の脱落例が歯科に紹介されて、口腔内装置治療の適応ではないにもかかわらず、あるいは口腔内装置治療の治療効果の判定が行われることなく、口腔内装置治療が行なわれていることなどが問題と考えられます。睡眠時無呼吸症候群の診療の基本的な考え方、医科歯科連携による質の高い診療が実践できるように解説します。

分子整合栄養医学概論

金子 俊之・鶴 純明【コース番号:12210121】

2021年12月5日(日) 10:00~12:30

会場参加

WEB 配信

分子整合栄養学という言葉聞きなれない方も多くおられるでしょう。分子整合栄養学は、単なる栄養学ではありません。生体における栄養成分の生化学的機能を理解すること、栄養成分の不足や欠乏によって生じる健康障害の発生機序を理解すること、各個人の身体の状態に合わせた栄養素の種類とその至適量を理解することで、疾患や症状を治療もしくは予防することが可能となります。生体内にあるべき分子を至適量に保つために十分な栄養素を投与することによって生体機能が向上し自然治癒力が高まります。身体の状態を正しく把握するためには、血液検査データから異常を読み取る必要があります。異常値が出た項目の生体内作用機序の理解、異常値が出た項目のみではなく関連する項目の確認、1回の検査データのみではなく経時的にデータを読み取るが必要になります。分子栄養学的アプローチを解説致します。

■定員：各10名(会場参加)

■会場：東京・新宿区

明海大学・朝日大学サテライトキャンパス

明海大学・朝日大学歯科医師生涯研修センター

■受講料：各¥8,000

Dental Hygienist Training Course
in Team Medicine in the Medical
and Dental Collaboration Era

11
DAYS COURSE

病巣疾患

今井 一彰【コース番号:12210122】

2021年12月5日(日) 13:30~16:00

会場参加

WEB 配信

原因不明の病気はあるが、原因のない病気はありません。原因不明といわれている病気の中には、慢性炎症巣が原病巣となつて引き起こされるいわゆる病巣疾患があります。体の一部に慢性的な炎症があり、それ自体は症状がないかあっても軽微ですが、体の遠隔臓器に二次的な器質的、機能的な疾患をおよぼす病像とされます。口腔内病変がなぜ他の臓器にまで影響をおよぼすのか、またなぜ近年になつて注目されるようになったのかそれらを解説します。



今井 一彰

Kazuaki Imai

メディカルエンターテイナー
みらいクリニック院長
内科医・東洋医学会
漢方専門医
NPO法人日本病巣疾患研究会
副理事長



西田 互

Wataru Nishida

にしだわたる糖尿病内科
院長
日本糖尿病学会専門医
医学博士

令和の歯科医療に必要となる医科的視点

～歯科が糖尿病やアルツハイマー病を予防する時代の到来～

西田 互【コース番号:12210124】

2022年1月9日(日) 13:30~16:00

会場参加

WEB 配信

演者は、新しき令和は、歯周病を『全身感染症』として捉える時代になると確信しています。糖尿病と歯周病の関係は、今や周知の事実となりましたが、2019年1月、医学の歴史を塗り替える衝撃の論文が発表されました。ポルフィロモナス・ジンジバリスの海馬への感染が、アルツハイマー病発症の原因になっているということです。しかも、ジンジパイン阻害薬によるアルツハイマー病治療の臨床試験は、既に2019年4月から欧米で開始されています。本セミナーでは、歯科の歴史上初めて生まれた劇的な転換点を乗り越えるために必要となる、医科的視点の数々をご紹介します。



垣添 忠生

Tadao Kakizoe

国立がんセンター名誉総長
日本対がん協会会長
日本泌尿器科学会
日本癌学会
日本癌治療学会
American Association for
the Advancement of Science;
AAAS
American Urological
Association, Inc.

がんと向き合う

垣添 忠生【コース番号:12210125】

2022年1月30日(日) 10:00~12:30

会場参加

WEB 配信

1. がんの多様性と人の多様性、その組み合わせの複雑性をいくつかの例示で理解していただきます。
2. 妻の場合、私の場合
私の妻はわずか4mmで発見した小細胞肺癌を治すことができず、1年半の闘病の後に亡くなった。妻の死後、私の強烈な喪失感とそれからいかに立ち直っていったかをお話します。
3. 人は 10^{27} 、 10^{35} メートルの間に漂う儚い存在
 10^{27} が宇宙、 10^{35} メートルが素粒子、人はこの広大な空間に漂っている誠に儚い存在に見えます。しかし、特殊な訓練を受けた人や資質をもった人は大きな達成を果たす。
普通の人でも、小さくても希望があれば大きな達成をします。その例示をして人の生き方を論じたいと思います。

■定員：各10名(会場参加)

■会場：東京・新宿区

明海大学・朝日大学サテライトキャンパス

明海大学・朝日大学歯科医師生涯研修センター

■受講料：各¥8,000

Dental Hygienist Training Course
in Team Medicine in the Medical
and Dental Collaboration Era

11
DAYS COURSE



井林 雪郎

Setsuro Ibayashi

特定医療法人社団三光会理事長
日本内科学会認定指導医
日本脳卒中学会
専門医・元理事・現名誉会員
日本脳循環代謝学会
元理事・現名誉会員
日本老年医学会認定指導医・
老年病専門医・代議員
日本脈管学会認定専門医・
元専門医・代議員
日本リハビリテーション医学会代議員
日本神経学会元代議員
九州大学FSR※推進委員会委員長
米国／欧州／世界脳卒中学会会員
AHA／ASA Premium Professional
Member/Silver Heart Memberなど



河原 英雄

Hideo Kawahara

奥羽大学歯学部元客員教授
九州大学歯学部元臨床教授
台北医科大学歯学部元臨床教授



竹内 孝仁

Takahito Takeuchi

日本医科大学教授
国際医療福祉大学大学院教授
東京医科歯科大学
リハビリテーション部助教授
日本医科大学教授(リハビリテーション科)
日本自立支援介護・パワーリハ学会
会長
日本ケアマネジメント学会理事
医学博士(M.D)

■定員：各10名(会場参加)

■会場：東京・新宿区

明海大学・朝日大学サテライトキャンパス
明海大学・朝日大学歯科医師生涯研修センター

■受講料：各¥8,000

Dental Hygienist Training Course
in Team Medicine in the Medical
and Dental Collaboration Era

11
DAYS COURSE

脳卒中回復期における 医科歯科連携診療の現状～話題提供～

井林 雪郎【コース番号:12210126】

2022年1月30日(日) 13:30～16:00

会場参加

WEB 配信

寝たきり(要介護5)原因の筆頭である脳卒中そして認知症には絶対なりたくない!という方は少なくありません... それでは脳卒中にならないためには、どうしたら良いのでしょうか?

超高齢化時代に入ってしまったわが国では、脳卒中の初発予防は勿論のこと、発症してもoralを含む frailty の進行を防ぎ、必要に応じて抗血栓薬や合併症管理を中心とした再発予防対策が重要です。万一(実際は千一/年)脳卒中を発症し、急性期を乗り切ったとしても、その後は比較的ゆったりと時間が流れるリハビリの世界、すなわち“フレイル巻き戻し/残りの人生回復”の期間が待っています。意に反して進んでしまう認知症を憂い、少しでも進行しないように見守り、かつ温かく接する訓練を身内が覚える期間にも相当します。本気でタバコやアルコールを断ちDietに励む絶好の機会そして期間でもあります。同時に噛み合わせや義歯の調整、摂食嚥下訓練と嚥下性肺炎予防は意外に軽視されがちですが、極めて重要な医科歯科連携診療の一環といっても過言ではありません。これからは少しでも長い平均余命を獲得すべく、口腔内の健康や polypharmacy の是正にも注力すべき時代です。私心を交えた高齢者脳卒中回復期医療の話で恐縮ですが、幾つかの課題を提供し皆さんと一緒に色々と考えて参りたく存じます、よろしくお願い致します。

咀嚼と全身機能

「脳を活性化する総義歯治療とは：噛める総義歯・前歯で噛み切れる総義歯がもたらす臨床効果」

河原 英雄【コース番号:12210127】

2022年2月13日(日) 10:00～12:30

会場参加

WEB 配信

「噛む」ことは脳を活性化します。噛むことで、寝たきりから蘇る、車椅子から立つて歩く、認知症が改善するなど、全身状態の改善につながる驚愕するような事象が河原先生の臨床で次々と証明されています。

前歯で噛める総義歯とは何か?噛める入れ歯はどのように調整するのか?噛めることでどのようなことが起きるのか?超高齢化社会において歯科医師が認識を新たにしなければならぬ重要なことがこの講義でわかります。河原英雄先生の臨床にける情熱と理念も感じ取っていただきたい大切な時間です。

自立支援介護(自立支援歯科)

竹内 孝仁【コース番号:12210128】

2022年2月13日(日) 13:30～16:00

会場参加

WEB 配信

高齢者の介護は長い伝統がありながら、これまでは“あるがままの(保存的)介護”で経過と共に活動性は低下し認知症も重度化していくものでした。2016年に安倍首相の主導で政府はこれまでの介護を自立性回復を目指す自立支援介護に転換しました。介護はこのことにより学術的にも実践的にも大きく進歩していく事になりましたが、その中で歯科的介入が自立性回復に大きく役立つ事がわかり標題のような新分野が拓かれることになりました。